

令和3年度教育研究活動報告書

氏名	宮谷 聡美	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	日本中古文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	中古文学専門演習 a、日本文学史2（中古）、日本文学概論、日本文学特殊講義、中古文学専門演習 b、日本文学講読2（中古）
大学院	研究指導（論文指導）、日本古典文学特論 1
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）『伊勢物語』の特徴について	
（2）『うつほ物語』の歌物語的側面について	
（3）平安期の和歌について	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1	
R3	〈著書〉『歌物語史から見た伊勢物語』単著、令和4年3月、新典社 〈学会発表〉「『うつほ物語』『若小君物語』の歌と物語」 （令和3年12月11日 尾道市立大学日本文学会おのみち文学三昧）
R2	〈研究ノート〉「2019年度専門ゼミナール活動報告－「百人一首を題材とした作品の影響力」を中心に－」 （共著、令和3年3月、東京経営短期大学『東京経営短期大学紀要』29巻、113-123ページ）査読無 〈著書〉『学びを深めるヒントシリーズ 枕草子』（共著、令和2年9月、明治書院、66-73、168-183ページ）
R1	〈論文〉「歌物語史から見た伊勢物語」（単著、早稲田大学博士論文）令和2年2月25日、査読有
H30以前の主な研究業績（件数は追加可）	
（1）〈著書〉『学びを深めるヒントシリーズ 伊勢物語』 （早稲田久喜の会 共著、平成30年3月、明治書院、2-4、8-10、46-55、76-77、214-223ページ）	
（2）〈論文〉「『伊勢物語』六段「芥河」-「白玉か」の歌をめぐる」 （単著、平成29年6月、中古文学会『中古文学』99号、59-70ページ）査読有	
（3）〈著書〉『古今和歌集巻二十一 注釈と論考』 1082・1083・1097・1098番歌注釈、 『伊勢物語』一二段「梅の花笠」-藤原敏行と歌謡- （久喜の会 共著、平成23年5月、新典社、93-106,172-184,327-347ページ）	
（4）〈論文〉「「かはらけ」に書かれた歌－『うつほ物語』実忠物語における歌物語の継承と発展－」 （『叢書 想像する平安文学 第4巻 交渉することば』平成11年5月、勉誠出版、64-82ページ）	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R1・R2・R3	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
早稲田大学国文学会編集委員（令和1年4月-令和2年12月）	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
公開講座	0 回
講演会	0 回
出前授業	0 回
その他（高校生のインタビュー）	1 回
（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入） 「現代とは違う平安貴族特有の価値観」「伊勢物語から読み取れる平安貴族の美的意識」について、高崎女子高等学校の生徒2名からインタビュー（総合的な探究の時間）の依頼があり、12月2日にオンラインで対応した。	